

第1学年5組 外国語科学習指導案

1. 単元名 Unit 6 「オーストラリアの兄」(New Horizon English Course 1)

「ALTの先生に三国中学校の先生を紹介しよう」

2. 指導観

○ これまで、私たちが英語をはじめとする外国語を日常で使用したり、自ら発信したりする機会は、身近で外国語を話す方とコミュニケーションをとる場合や学校での授業など、限られた場面だけであった。しかし、今日、交通機関やデパートなどの表示やアナウンスをはじめ、私たちの生活圏内である太宰府天満宮や福岡空港などにおいても、外国語に自然に触れる機会が増えてきている。東京オリンピック・パラリンピックを控え、福岡にも世界遺産をはじめとする観光地に海外の人々がより多く訪れることが予想され、私たちもさらに海外の人々と触れ合ったり、外国語を使ったやり取りをしたりする場面に遭遇する機会が想像される。

本単元は、咲が Australia にいる兄の生活ぶりを紹介し、その内容について仲間が質問をしたり、さらに Australia に生息する動物について対話したりする展開になっている。言語材料としては、一般動詞の三人称単数現在形の肯定文、疑問文とその応答、否定文などが扱われる。いずれも、第三者を紹介する場面で必ず用いられる重要な文法事項であり、これらを学習することで、生徒たちの表現の幅もさらに深まり、場面に応じて活用し、発信するという、思考力・判断力・表現力を育てる上でも、意義のある単元だと思われる。

○ 本学級(39名)で、既習の英文をリズム音読する際には、とても大きな声を出して、意欲的に取り組むことができる。しかし発音したり読めたりはするが、書き表すことに自信がもてない生徒も多い。そこで、教科書の基本的な表現を運用できるように、1学期より”This is me.”という自分に関する英文を書きためていく冊子を作成していくようにした。書き表すことが難しいと感じる傍ら、自分について書けたという経験を少しずつ積むことで、「自力で書くことができたのはすごうれしかった。」「好きなことや部活動などを書いて楽しかった。難しかったけれど面白かった。」などの意見や、「これを使って、みんなで自己紹介をしてみたい。」など、発信することに対しての意欲も見られ始めた。自分の考えを書いたり、話したりすることができたという達成感を味わう経験を仕組み、生徒が自ら課題にチャレンジしたり仲間と教え合ったりする場をもつことで、よりよい表現ができるように振り返り、次につなげることができるようにしていきたい。

○ 以上の実態をふまえ、単元を貫く課題を「ALTの先生に三国中の先生を紹介しよう」とし、三次の構成で展開する。まず、第一次として、三人称単数現在形の肯定文を学習する。一般動詞が主語によって形や発音が変わることを理解させるために、一般動詞の変化は、対話等でよく用いられるものに絞る。第二次では、主語が三人称単数で時制が現在の場合の疑問文やその応答文、否定文を学習する。ここでもドリル学習などを通して、主語に合わせた新出の does の運用に慣れさせたい。第三次では、学習した内容を使って書いたり、話したりして相手に伝える場を設定する。今年度より ALT として赴任された Maria 先生は、複数校掛け持ちをされており、本校の英語科以外の先生方となかなか話をする機会がもてないのが実情である。そこで、三国中にはどんな先生がいるのか(身近に実在する人物)の紹介をする活動に取り組みさせる。まずは、自分で先生紹介の文を考えさせる。次に学習班の仲間と、紹介文を交流した上で、班としてはどの先生を紹介するのか、そしてより分かりやすく伝えるためにはどうしたらいいかなど、意見を出し合わせ、内容を深めさせたい。発表は学習班の単位で行う。また、個人で考えた紹介文は、ALT と 1対1の speaking time を設け、そこで ALT の先生に伝える経験をさせることで、班での発表だけではなく、個人でも伝えることができたという達成感を味わわせていきたい。

3. 目標

○自分と相手以外の人物(第三者)の情報を伝えようとしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○自分と相手以外の人物(第三者)について話すことができる。【外国語表現の能力】

○話し手の身近な実在する人物についての紹介文を聞いて、その情報を聞き取ることができる。

【外国語理解の能力】

○三人称単数現在形の肯定文、疑問文とその答え方、否定文の形・意味・用法に関する知識を身につけている。

【言語や文化に関する知識・理解】

4. 単元指導計画（13時間）

【関：関心・意欲・態度、表：外国語表現の能力、理：外国語表現の理解、知：言語や文化に対する知識理解】

次	時	学習活動・内容	指導のねらい・内容・方法	評価規準（観点：方法）
一	3	<p>1. 三人称単数現在形の肯定文を理解する。</p> <p>(1) 主語が三人称単数で、時制が現在である場合の一般動詞の変化について知る。</p> <p>・ <u>lives, speaks, studies, teaches</u>…</p> <p>(2) 咲の兄についての紹介文の内容を把握する。</p> <p>・ <u>Haruki lives in Australia.</u></p> <p>(3) 単元を貫く課題を確認する</p> <p><u>Maria</u> 先生に三国中の先生を紹介しよう</p>	<p>主語に合わせた一般動詞の使い分けができる</p> <p>・ リズム音読やドリル学習を行うことで、主語や三人称単数現在形について慣れさせる。</p> <p>・ 本文を穴埋め形式にした枠を活用し、身近な人物を紹介する文章を作成させ、第三者を紹介する練習をする。</p> <p>・ <u>Maria</u> 先生からのビデオメッセージの内容をつかませることで、どの先生を紹介しようかという意欲を高める。</p>	<p>・ 主語に合わせて、一般動詞を選択したり、書いたりすることができる。</p> <p>(知：学習プリント)</p> <p>・ 本文の内容を把握することができる。</p> <p>(理：学習プリント)</p> <p>・ 人物や一般動詞等を入れ替え、簡単な紹介文を作ることができる。</p> <p>(表：学習プリント)</p>
二	4	<p>2. 三人称単数現在形の疑問文と応答、否定文を理解する。</p> <p>(1) 三人称単数現在形の疑問文とその応答を理解する。</p> <p>・ <u>Does</u> Haruki live near a beach? Yes, he <u>does</u>. / No, he <u>doesn't</u>.</p> <p>(2) 咲の紹介文に対する Alex の質問や応答の内容を把握する</p> <p>・ <u>Does</u> he go to the beach every day?</p> <p>(3) 三人称単数現在形の否定文を理解する。</p> <p>・ Ken <u>doesn't</u> have a guitar.</p> <p>(4) Becky と咲の会話の内容を把握する。</p> <p>・ Haruki <u>doesn't</u> talk about animals.</p>	<p>主語が三人称単数で、現在の場合、疑問文や応答文、否定文で <u>does</u> を用いること、またその場合、一般動詞が原形に戻ることを理解することができる。</p> <p>・ <u>does</u> を含んだ疑問文や応答文、否定文のリズム音読やドリル学習を行う。</p>	<p>・ 主語に合わせて、<u>does</u> を用いて尋ねたり、答えたりする文を書くことができる。</p> <p>(知：学習プリント)</p> <p>・ 本文の内容を把握することができる。</p> <p>(理：学習プリント)</p> <p>・ 主語に合わせて、<u>does</u> を用いて否定する文を書くことができる。</p> <p>(知：学習プリント)</p> <p>・ 本文の内容を把握することができる。</p> <p>(理：学習プリント)</p>
三 本 時 3 ／ 5	5	<p>3. ALT に、三国中の先生を紹介する文を作成する。</p> <p>(1) 個人で紹介文を作成し、学習班の仲間と交流する。</p> <p>【2時間】</p> <p>(2) 学習班で紹介する先生を1人決めて、協力して紹介文を作成し、発表の練習をする。</p> <p>【2時間】</p> <p>(3) ALT に、各班から三国中の先生の紹介をする。【1時間】</p>	<p>三人称単数現在形を用いて、三国中の先生について班員と協力して紹介文を作成し、伝えることができる。</p> <p>・ 学習班内での発表後に小さな振り返りを行い、できたことやもっと上手く伝えたいことなどを考えさせる。</p> <p>・ 各班からの発表後、大きな振り返りとして、実際に伝える経験をして感じたこと、もっとできるようになりたいことなどを書き出させる。</p> <p>・ 後日 ALT に1対1で三国中の先生を紹介する場を設ける。</p>	<p>・ 個人で先生を紹介文を書くことができる。</p> <p>(表：学習プリント)</p> <p>・ 班員と協力して、ALT に三国中の先生を紹介する文を作成することができる。</p> <p>(表：学習プリント、発話チェック)</p> <p>・ 三国中の先生の情報を、三人称単数現在形を使って伝えようとしている。</p> <p>(関：様相チェック)</p> <p>・ 各班の発表を聞き、紹介された先生の情報について理解することができる。</p> <p>(理：学習プリント)</p>

5. 本時 平成30年11月9日(金) 第5校時 第1学年5組教室 第3次の3時

6. 本時の主眼

・班員と協力して、ALTに三国中の先生を紹介する文を作成することができる。(外国語表現の能力)

7. 振り返り活動を仕組む、授業づくりの工夫点

「小さな振り返り活動」として、獲得した知識や表現のうち、どれがより使えたか(伝わったか)、または使えるか、どんなことをもっと伝えたいかを考えさせ、生徒の発信することに対する意欲や自信につなげていく。これをもとに、学習班による交流活動および全体交流を通して、自己の学習状況の変容を認識するための、「大きな振り返り活動」を行う。本時では、通常の振り返り活動(授業への参加状況など)を行う。

8. 準備 ①学習プリント ②授業記録用紙 ③キーボード ④コンピュータ

9. 本時の過程

段階	学習活動・内容	○指導上の留意点	評価の観点(方法)	形態	配時
つ か む	1. あいさつをし、Warm-upとして、 Super Inputに取り組む。 ・ This is Ms. Shinohara. ・ She is our homeroom teacher.	○生徒が自発的に学習した内容を使えるように、人を紹介する際に使える表現を warm-up で取り上げておく。		全	7
	2. ALT のメッセージを聞き、本時の学習内容をつかむ。 Maria 先生に三国中の先生を英語で紹介しよう	○ALT から、先生の紹介を楽しみにしている旨のメッセージを聞くことで、活動の意欲を高めさせる。		全	5
さ ぐ る ・ 深 め る	3. 学習班の中で、どの先生を紹介するかを決め、紹介文を作成する。 ・ 個人で作成した紹介文を振り返る。 ・ それぞれの良さやなるほどと思った表現を出し合う。	○班での紹介文作成用の学習プリントにもマインドマップを載せ、まずは班員で伝えたい情報を整理させ、その後、協力して英語での紹介文を作成させる。		班	3 3
	・ 班でどの先生を紹介するかを決定する。 ・ 全員で協力して、先生の紹介文を作成する。 →伝えたい内容の確認 →必要な道具(写真など)の確認				(5)
／ ま と め る ・ 振 り 返 る	4. 今日の活動を振り返る。 ・ 通常の授業記録に記入させる。	○個人の授業記録用紙に班内で交流したり、紹介分を作成した際に感じたりしたことを(もっと工夫したいと感じたことなど)振り返り、記述させる。	・ 班員と協力して、三国中の先生を紹介する文を作成することができる(外国語表現の能力)	個	(3)
					(20)
					5